

横田基地所属C-130Hの部品遺失について（要請）

平成29年7月13日、北関東防衛局を通じて、「平成29年7月12日（水）午後、訓練飛行後に行った点検中に横田基地所属C-130Hの金属部品が無いことが判明した。着陸装置の一部の部品で、大きさは約2インチ×5インチ（約5cm×12.7cm）、重さは約1ポンドのプレートである。」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供された。

部品等の落下は人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

先月にも横田基地に着陸したC-5輸送機の部品遺失が確認されたことから、再発防止の徹底を要請したが、再びこうした事故が発生したことは、極めて遺憾である。

度重なる事故の発生に対して厳重に抗議するとともに、貴職においてはこのような状況を十分に認識され、下記のとおり対応するよう要請する。

記

- 1 事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を図ること。
- 2 航空機の点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

平成29年7月13日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

ケネス E. モス大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	羽 村 市 長	並 木	心
	立 川 市 長	清 水	庄 平
	昭 島 市 長	臼 井	伸 介
	福 生 市 長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之